

次代を担う

若手実務者に向けた

シンポジウム



魚谷繁礼：もやし町家（写真：笹倉洋平）



森田一弥：御所西の町家



魚谷繁礼：もやし町家（写真：笹倉洋平）

「いま考えよう 京町家のみらい」

～気鋭の実務者が語る 京町家の本質の活かし方～

日時 | 令和2年1月31日 | 金 |
14:00 - 16:45 (開場 13:30)

会場 | ひと・まち交流館 京都 地下1階
(公財)京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム1・2

定員 | 120名 要申込 入場無料
申込多数の場合は抽選となります。

主な対象者 | 若手実務者

(設計者、工務店、不動産業者の方など)
京町家の改修経験の少ない若手実務者向けの
内容となっておりますが、そのほか関心
がある方も、ぜひ御応募ください。

プログラム |

(第1部)

安井昇氏による基調講演

防災面からみる 京町家の特徴と可能性について

(第2部)

パネルトーク



森田一弥：御所西の町家



株式会社八清：ヨリアイマチヤ（写真：株式会社八清）



株式会社インテリックス：宿ル KYOTO 抹茶ノ宿



柳沢究：紫野の町家改修

コメンテーター
桜設計集団 一級建築士事務所

安井昇

ファシリテーター

一級建築士事務所 研究建築研究室

柳沢究

パネリスト

株式会社魚谷繁礼建築研究所

魚谷繁礼

パネリスト

京都府建築工業協同組合

木村忠紀

パネリスト

株式会社インテリックス

杉山憲三

パネリスト

株式会社八清

西村孝平

パネリスト

森田一弥建築設計事務所

森田一弥

次代を担う若手実務者に向けたシンポジウム

「いま考えよう 京町家のみらい」

～気鋭の実務者が語る 京町家の本質の活かし方～

京町家については、近年より一層、その価値が再評価され、様々なかたちでの活用が進んでいます。しかし、その一方で、京町家の本質を損ねかねない改修が散見される、法規制への適合が困難であるなど、活用の幅を広げるうえで多くの課題があることも事実です。そこで、「京町家の本質の活かした活用のあり方とは」を改めて考えるきっかけとして、当シンポジウムを開催します。

次代を担う若手実務者の方々に多数御参加いただき、各分野における気鋭の実務者の方々と一緒に京町家のみらいを考えるとともに、これからの京町家の保存活用に積極的に関わっていただくための一助となれば幸いです。

日時 | 14:00 - 16:45
令和2年1月31日 | 金 | (開場 13:30)

会場 |
ひと・まち交流館 京都 地下1階
(公財) 京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム 1・2
京都市下京区西木屋町通上ノ口上梅湊町 83 番 1
市バス「河原町正面」バス停下車すぐ
御来場の際は、可能な限り公共交通機関を御利用ください



申込締切 |
令和2年1月24日 | 金 |
17:00 まで

問合せ先 |
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番
京都市都市計画局建築指導課 歴史的建築物保存活用係 (林・七丈(しちじょう))
TEL / 075-222-3620

申込方法 |
FAX 又はメールによりお申込みください
なお、当選者は事務局から参加証を送付いたします
FAX : 075-212-3657 (下のFAX専用申込フォームを御利用ください)
メール : kenchiku-sidou@city.kyoto.lg.jp
(メールの際は、下記申込フォームの記載内容を御記入のうえお申込みください)

| FAX 専用申込フォーム | 京都市都市計画局建築指導課 行

■申込者の氏名

■電話番号

■勤務先等 (職種共)

■御住所

■メールアドレス※1

※1 参加証の送付は、メールで行いますので、必ず御記入ください。
メールを使用できない方は、参加証を郵送しますので、受取が可能な住所を御記入ください。
※2 御記入いただいた情報は当シンポジウムの参加証の送付のほか、当課主催の今後のイベント情報 (シンポジウム・講習会等) の御案内のため使用いたします。

第1部 基調講演



安井昇氏 Noboru Yasui

桜設計集団一級建築士事務所 代表
／早稲田大学 研究員／NPO法人
Team Timberize 副理事長
1968年生まれ。高校まで京町家で育つ。大手住宅メーカー勤務を経て、1999年に桜設計集団一級建築士事務所を設立。木造建築の設計の傍ら、木造防火に関する技術開発・研究開発を行う。日本建築学会奨励賞を受賞するなど、設計・研究分野にて活躍する。

第2部 パネルトーク

| ファシリテーター |



柳沢究氏 Kiwamu Yanagisawa

一級建築士事務所研究建築研究室
／京都大学 准教授
1975年生まれ。2002年に現在の一級建築士事務所研究建築研究室を設立。京都大学の准教授という立場から、地域の個性と時間的な奥行きを備えた都市空間・建築を实践・研究の両面から模索する。「斜庭 (はすにわ) の町家」にて第1回京都建築賞の優秀賞を受賞。

| パネリスト (五十音順) |



魚谷繁礼氏 Shigenori Uoya

株式会社魚谷繁礼建築研究所 代表
1975年生まれ。現在、魚谷繁礼建築研究所代表。「旧美濃幸」にて建築基準法適用除外制度を活用するなど、京町家等の地域資源を活かした設計活動を多数行っている。「もやし町家」にて令和元年度京都景観賞京町家部門の市長賞を受賞。



木村忠紀氏 Tadanori Kimura

京都府建築工業協同組合 理事長
1946年生まれ。京都府優秀技能者。大学や京都市と共同で、木造土壁による準耐火構造の開発や京町家木製防火戸の防火性能実験に参画するなど、伝統木造に関する法的な環境整備のための活動に積極的に取り組む。2018年には旭日双光章を受章。



杉山憲三氏 Kenzo Sugiyama

株式会社インテリックス ソリューション事業部長
／五條会館 支配人
1970年生まれ。不動産クラウドファンディング等検討会委員など、国土交通省の検討会委員の実績をもつ。不動産投資ファンド運用に従事したのち、(株) インテリックスでは京町家再生事業を多く手掛けるとともに、旧花街にある「五條会館」の保存活用事業に所有者及び事業者として取り組む。



西村孝平氏 Kohei Nishimura

株式会社八清 代表取締役
1950年生まれ。代表をつとめる(株) 八清では、京町家を改修することで、町家の持つ潜在的価値を損なわずに新たな付加価値を創出するなど、現代のニーズに合わせた改修実績多数あり。「京町家 × 石畳」町並みプロジェクトにて平成28年度京都景観賞景観づくり活動部門の奨励賞を受賞。



森田一弥氏 Kazuya Morita

森田一弥建築設計事務所 代表
1971年生まれ。左官職人として金閣寺などの文化財建築物の修復工事に携わった後、2002年に現在の森田一弥建築設計事務所を設立。土壁や漆喰など「土」の素材にこだわり、国内外で多彩な活動を行う。「御所西の町家」にて令和元年度京都景観賞京町家部門の優良賞を受賞。